

もみじ

—広島県山岳連盟会報—



一般社団法人 広島県山岳連盟

〒733-0011 広島市西区横川町 2 丁目 4-17

電話・FAX (082) 296-5597

E-Mail: hgakuren@lime.ocn.ne.jp

URL: <http://hiroshima-gakuren.or.jp>

郵便振替口座 01380-6-37958

「山の日」国民の祝日 記念講演会

「山を想う、山を語る」

—祝日としての「山の日」は何を意味するのか

「山の日」国民の祝日記念講演会が、8 月 11 日 14:00 から J A ビル 10 階講堂で「ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会」主催で開催された。参加者は約 100 名で第 1 回県民の集い (国際山岳年 2002 年) に「日本に山の日をつくろう」と提案された江本善信さんをゲストにお招きして開催された。

江本さんは「広島県は他よりも早く山の日を作ったことに誇りをもっていい」と言っておられた。



講演する江本嘉伸氏

講師からのメッセージ

3・11 から 8・11 へ

「山の日」とは、「命を考える」場である。

3 月未曾有の大災害が私達山人間に教えたものは「山の日」の思想の根幹にかかわる大事なことを気づかせてくれた。一言でいえば「命をかんがえる」場だった。里山に囲まれた私たちの故郷。山国の日本は、あちこち傾斜だらけだ。命を考えるということを理解できるだろう。3・11 が今回の「山の日」制定に意味することは実はとてつもなく大きい、と私は感じている。「山の日」に最も近く存在するのは、穂高でも剣でもなく、里山である。できる事なら、幼い子供たちに「三十メートル峰」「五十メートル峰」を登る試験あるいは遊びと言ってもいい、「日ごろから平地より高いところ」に登るくせをつけてほしいと願う。

国民の祝日「山の日」記念行事

山の恩恵に感謝する

山岳連盟比婆山で 2 つの行事行う

理事 福永やす子

「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する」ことを目的として、8 月 11 日が国民の祝日「山の日」として制定された。山岳連盟ではこれを記念して、8 月 11 日 (祝) に比婆山周辺 (庄原市西城町) で一般県民対象の県民ハイキング (49 名) と自然保護指導員、自然保護に関心のある方を対象に自然保護指導員研修会「植物観察会」 (51 名) の二つの行事が行われた。

8 月 11 日当日 10:00、猛暑が続く晴天にひろしま県民の森公園センターに県内各所から 100 余名

の参加者が六の原の六角堂前の広場で合同で開会式を行った。京才会長の挨拶の後「くれぐれも脱水症にならないよう！水を飲むように！」声掛けがあった。谷さんの体操で体をほぐし、小田さん担当の「県民ハイキング」は班分けされて毛無の山頂へ・・・。

加納義美氏（三原山の会）を講師に招く —植物観察会

自然保護指導員研修会（植物観察会）は三原山の会の加納義美氏を講師に招き毛無山への登山道周囲の植物を観察して歩いた。植物観察としては50名と異例の人数。六の原横のコースを花の名前と言われ等を紙に書いて植物の茎に付けてもらい最後尾で回収して歩く手法を取った。とても心に残り上手く行ったので少し紹介しよう。

早速、コマツナギの花が右手に。紙には「コマツナギ・駒繫 茎が強いので馬を繋ぐのに使った。萩の花に似ている」と50人の目が植物を観察し加納氏の説明にうなづきながら進む。

車道の横にヒヨドリバナの登場。「ヒヨドリバナ・鶯花」…難しい漢字。加納さんは凄いと感心する。私は得意になって周辺の人にアサギマダラの好物の花と紹介する。「日本列島を縦断して台湾まで2万キロを飛んで行くチョウ」のお話をした。その日は姿を見せなかったが・・・。

サジガンクビソウが現れる。「サジガンクビソウ・根本の葉がさじの形で花がキセルのがん首」さじとがん首のカット入りで判りやすく納得。

「ミヤマウズラ・深山鶉 葉の模様が鶉の羽根の模様に似る」草刈り機で無残にも頭を刈られた植物。

「クモキリソウ・雲切草 ラン」には花の写真が置かれていた。秋の七草が毛無の山頂付近には多く参加した子供達も大はしゃぎ見晴らしも抜群に良い。

「アカマツ・赤松 常緑で神聖な木 神が降りてくるのを待つが語源。葉は食可。ジュースで水、リンゴ、蜂蜜と混ぜて老化防止。」松の葉を取って食して見る。少し酸っぱく初めての体験だった。昼を少し回った頃山頂到着。

携帯トイレ・ブースを説明

食事を済ませた県民ハイキングのメンバーと話を交わし、場所を譲ってもらった。木陰で食事を取り、前者に設置してもらった携帯トイレブースの説明を行った。7月塩見岳に登り塩見山荘で新たに携帯トイレを設置してあったお話しや地震や災害等での必要性を報告するとすでに100円ショップで携帯している会員や子供達は実際に用を済ませたり、興味のある会員も使用して実感したり興味津々だった。携帯トイレブースを撤収して出雲峠方面へ……。ききょうヶ丘はカットして出雲峠で休息。

春に白い花を咲かせる老木を聞いて見た。加納さんすぐに「ズミ・酢実 別名：コリンゴ 樹皮は染料（黄色）実が酸っぱいので酢実。一霜降りると甘酸っぱくなる。」と木に紙を吊るされた。みんな植物に触って見て納得する。マツムシソウの群落で秋を感じ登山道からそれて植物を観察して63種の植物の観察を済ませ六の原へと帰った。

比婆山には貴重な植物も沢山有り、我々が観察会を期に植物に関心を持ち保護して行く事の大切さを実感した。この場で紹介しきれない植物を教わり手に触れて観察した事で有意義な一日を過ごした。植物観察としては毛無山に登頂してのハードな行程をスタッフの気転のお蔭で講師の周りに移動し、長時間お付き合くださった講師の加納さん大変お疲れ様でした。今後ともご指導戴きますようお願いいたします。



写真提供 福永やす子



写真提供 福永やす子

一般社団法人 広島県山岳連盟

県民ハイキング 報告書

告日：H28 年 8 月 12 日 報告者：小田 里子

第 3 回		実施日		8 月 11 日（木）		天候		晴れ	
山 名	比婆「毛無山」 (1143.7m)			所在地		庄原市西城町			
担当 団体	山岳連盟			責任者		小田 里子			
一般 参加	21 名	高 校 生 以 下	3 名	スタッ フ・会員		25 名	合 計	49 名	
実施 概要	【行動記録】								
	10：00～10：15 六角堂（受付、自然保護との合同開会式、ストレッチ）班分け出発 11：40～12：20 毛無山（昼食、地図読み、トイレ、ブナ林のレクチャー、集合写真） 13：40～13：50 伊良谷山 14：30 キャンプ場下（クールダウン） 14：40 六角堂（解散）								
実施 概要	【配布物】谷さん作成地図、植物冊子、国定公園トレッキングマップ、庄原旅ノート、安全登山ハンドブック、缶バッチ、辺境セミナーチラシ、県民ハイキングチラシ、名札、領収書 子供には（缶バッチ 2 種、山チョコ）								
	【荷揚げ物】簡易トイレセット、水 2L								

気付報
いた
点

【概要】当日欠席 3 名あり。班ごとにスタッフ案内で毛無山に向け歩く。特に遅れる人も無く順調に毛無山山頂。毛無山山頂での昼食、レクチャーが終わり、下山準備中に自然保護隊が登って来て、山頂スペース交代が出来た。下山も順調で問題なし。クールダウン後は暑い事もあり、流れ解散的で、締まりのない解散となった。

- ・現地まで自力参加にも関わらず 49 名の参加者があり、皆さんの協力努力の賜物と感謝。
- ・配布物が多かったが、前日から入山した杉本さんがセットしてくれた。当日ではとても出来ない。「ハイキング計画書」は印刷準備したが、配布を忘れた。
- ・受付は、前回の反省（一般と会員の金額が違うので、離れた方がよい）から一般と会員の受付を離れたが、自然保護の受付も有り、3ヶ所の受付で煩雑となり、混乱を招いた。
- ・自然保護、県民ハイキング間の参加者の変更が多かった。
- ・班分けをしたが、班変更願いが多く柔軟に対応したが、変更報告も無く移動があり不明者捜索に非常に気を使った。
- ・植物冊子は 12 頁、自然保護、県民ハイキング参加者分 100 部のカラー印刷は、理事会終了後の当日前夜山田理事長が印刷して下さり、大いに助かった。
- ・今回も谷さんによる「地図読み」をして貰った。大山、猿政山等遠望出来て、皆興味深く熱心に聴いていた。コンパスの使い方の質問もあった。「コンパスの使い方」配布の必要性がある。
- ・草花の質問も多かった。ハイキングの楽しみ方が広がったのではと思う。
- ・「ブナ林」「簡易トイレの使い方」とレクチャーが多かった。参加者は満腹だったかな？

今後の
提案

- ・簡易トイレでの用足しは面倒かも知れないが、女性には喜ばれると思う。今後の県民ハイキングで必要と思われる山には設置した方が良と思われる。
- ・谷さんの地図読みでは興味を示して好評だった。知識を得る喜び、もっと色々知りたいという思いが向上心となり個人会員の入会に繋がるのではないかなと思う。安全登山に繋がるレクチャーの提供してこそが、県民ハイキングの目的。
- ・班分けの変更希望には、混乱回避の為、スタッフ間の連携が大切。

「県民ハイキング」 報告書

香川正臣 (マツダ親和会山岳部)

実施山名	広島県民の森 「毛無山」 (1143.7m)	所在地	庄原市西城町 比婆山塊	
実施日	8 月 11 日 (祝・木)「山の日」		担当 団体	広島県 山岳連 盟
参加者数	49 名			
コース	ひろしま県民の森公園センター六角堂 (10：15) — 毛無山 (11：40) — 六角堂解散 (14：40)			
ひとこと	猛暑日が続く毎日だが、ブナ、ミズナラ 等の涼しい樹林帯の中をゆっくり毛無山 に向けて歩く。山頂では大山の遠望も出 来て、地図読みやブナ林のレクチャーを 行った。 カワラナデシコ、フジグロセンノウ、ワ レモコウ、シラヤマギク、シュロソウ等 の花々をみる事が出来、県北ならではの 山を楽しむ事ができた。			



地図よみ講習風景

第 5 回登山教室を終えて

2016 年度 1 年生第 5 回目はテントと装備をかついで距離を歩くという事で比婆山に行ってきました。今回も小雨の中での山行となりましたが、全員計画通り歩きました。(指導部 森本 覚)

日時:8・27 (土) ~28 (日)

登山形態:テント泊山行 人数:9 名

山 域:吾妻山・比婆山連峰 (スタッフ含む)

初めて 16kg 担いで歩く**登山教室 1 年 内山 由貴**

登山教室 1 年生第 5 回の山行は、「テント泊縦走に向けて、テント装備を担いで距離を歩く！」というテーマで比婆山連山へ向かいました。1 日目は六ノ原～吾妻山を往復、2 日目は牛曳山から御陵を通ってぐると縦走です。

お天気は1日目がどうにか晴れてくれそうで2日目が大雨の予報でしたが、見事に外れました。1日目はほぼずっと降られっぱなし。夕食どきに上がってくれたのは助かりました。2日目も下山するまではほとんど降らなかったのも、テントも思ったほど濡れておらず、テントを担ぐ担当だったのでホッとしました。山のお天気は本当に分からないなと思います。

今回のルートは一度歩いたことのある道でしたが、16kg を担いで歩くのは初めてです。前回より距離もあるので、歩き通せるかとても不安でした。そのため



『毛無山頂上』にて集合写真

事前に十方山～恐羅漢山で同じ重量で歩荷訓練をしたのですが、そのときは途中でバテ始めてストックを使ってしまいました。今回はストックなしで 2 日間歩き通すことができたので、少しは成長したのかなと思いましたが、涼しくて歩きやすかったおかげかもしれません。

教室でのテント泊も 3 回目。食事の準備など相変わらずバタバタしましたが、初回よりはマシだったと思います。調理途中で 1 つガスがなくなりかけてしまい、雪山だったら大変なことになるよ、と言われ反省しました。自家製のお野菜の差し入れなどもあり、とても豪華で栄養たっぷりの美味しい食事となりました。朝は 4 時起きで 6 時出発の予定でしたが、5 時半には皆ほとんどの準備が整っており、「朝は 1 時間半で準備を目標にしてみよう」という言葉を実践することができました。てきぱきと指示してくださる先輩方がいてくれたからできたことだと思います。

今回は雨のせいで足元の汚れがひどく目立ち、自分の歩き方の問題点をはっきり意識することになりました。このままの歩き方ではワカンを履けないよ、と言われたので、内股気味の歩き方を何とか直していきたいです。昔からのクセなのでなかなか難しいのですが。

いろいろと大変なこともあります。少しずつ進歩が感じられ、できることが増えていくのはとても楽しいです。この調子で、また次のステップを上がれたらと思います。



写真提供 渡邊久美子

第 5 回目 沢登り

- 1、日時：8・20 (土) ～8・21 (日)
- 2、登山形態：沢登り (BC テント泊山行)
- 3、山域：ウラオレ・奥三段峽
- 4、人数：13 名 (スタッフ含む)

2016 年度 2 年生の第 5 回目は沢登りに行ってきました。今回は事前に練習したロープワークをしながら、安全に沢を楽しむことができました。(指導部森本寛)

感想文

2 日間を通じて沢登りを満喫

登山教室 2 年 山奥 隆史

登山教室 2 年生 8 月の山行は、沢登りを目的にウラオレ谷・奥三段峽へのテント泊でした。今回は 1 年生の沢登講習兼ねての合同山行です。

1 日目はウラオレ谷。初めての沢たび歩きに慣れながら進み、最後の 3 つ滝に挑戦しました。シャワークライムは息も苦しく足元も見えず怖い思いをしましたが、登り切ったあとは達成感がありました。エコロジーキャンプ場では食担として皆さんに協力していただき夕食を作りました。事前の試作通りにはいきませんでした。食担以外にも皆さんがおかずを提供してもらいなんとか形になりました。

2 日目は奥三段峽。初日より大きな沢で兩岸の岩も迫力満点でした。段差も初日より大きなところが多かったのですが、2 日目で慣れたせいか順調に進めました。ただ足が届かない場所も初日より多く、泳ぎが得意でないと思うように進まず苦労しました。

昨年の沢登り講習には参加できなかったのも、沢登り初体験でした。水に濡れるのがあまり好きではなかったんですが、いったん川に入ってしまうと水の冷たさが心

地よく、また普段とは違う景色を堪能できました。2 日間を通し沢登りを満喫することができましたが、やはりロープで確保して頂いてるからこそ楽しむことができたなと実感しました。みなさんありがとうございました。



写真提供 渡邊久美子

岳連短信

1、受贈誌御礼

①筆影 438 号 (2016・9)

9 月行事予定・今思えば (島田和久)・白滝山・黒滝山報告 (井本加世子)・夏の白滝・黒滝 (原田政範)・岩黒・平箱・筒上山報告 (宮本順子)・黄蓮華升麻と虻と (村田和男)・川柳 山野草名前を聞いても忘れそう (匿名)・山プラン立てて土砂降り雨の泡 (匿名)・健康は歩くことから始めよう (シクラメン)・コンパスをおもむろに出す道迷い (呑気放亭)

2、ふるさとの山に登ろう 県民ハイキング

詳細は事務局 082-296・5597 まで

9・11(日) 小室井山 (県庁山の会)

10・23 (日) 恐羅漢山 (広島山稜会)

11・20(日)高山・新高山 (三原山の会)

12・04 (日) 宗箇山 (広島やまびこ会)

事業計画 10 月 (案)

10・02 (日) クライミングスクール (三倉岳)

10・06 (木) 登山教室①②机上 (三篠公民館)

10・12 (水) 運営会議⑧

10・15 (土) ~16 (日) 登山教室② (剣山~三嶺)

10・19 (水) クライミングスクールビギナーズレッスン

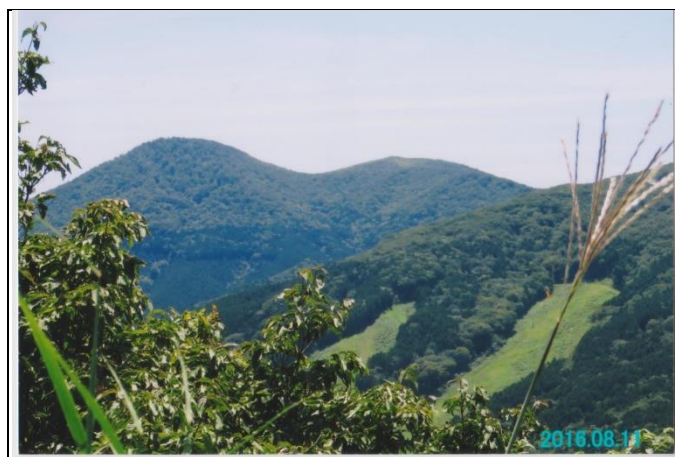
10・20 (日) 県民ハイキング三原山の会 (高山・新高山)

10・30 (水) スカイラン実行委員会②

山の風景 66

比婆山連峰

2016・8・11 写真提供 森 智昭 (ひこばえ)



編集部より

○この会報は、皆さんの提出原稿を編集して発行しています。岳連行事・山の情報・行事参加の感想など気軽にお寄せください。寄稿の場合は所属、役職を記入下さい。編集の都合で一部手直しすることがあります。ご了承ください。

○会員団体で会報発行されたら岳連事務局まで恵送下さい。随時紹介します。

○この会報はメール配信しています。配信ご希望の方は岳連事務局までメールアドレスをお知らせください。

題字デザイン 今村みずほ 編集 仲井正美